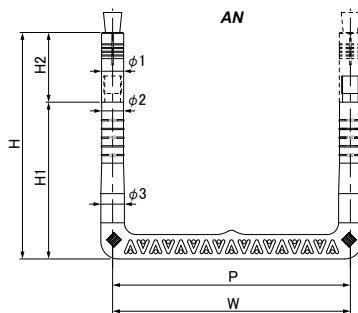
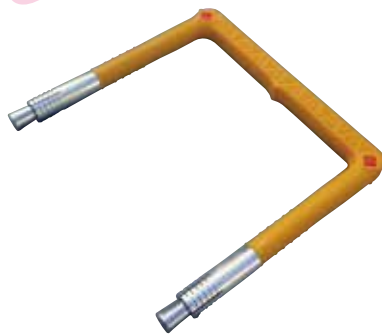


ANCHOR TYPE 後付けタイプ(アンカー固定式)

アンカーを使用してタラップを固定します。
現場施工がよりスムーズに効率よく安全に行えます。



●特長

1. アンカーでタラップをガッチリと固定するので、抜け出す心配がありません。
2. 孔をあけ、アンカー固定式タラップを差し込み、プラスチックハンマー又は木製ハンマーで打ち付けるだけの簡単施工。
3. 取付後エポキシ樹脂(アメニティパテ等)を充填すれば、水の浸透を防げます。

●寸法表 芯材:SWCH12R(芯材:SUS304)・アンカー部:スチール

※入数/10本

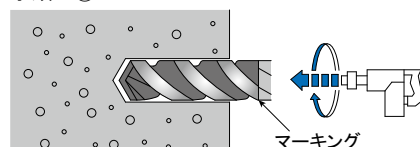
型 式	φ1 mm	φ2 mm	φ3 mm	W mm	H mm	P mm	H1 mm	H2 mm	質量 kg (芯材) (SWCH12R) (SUS304)
AN30-260SS(SUS)	25.4	25.0	27.0	300	260	273	180	80	2.02 2.04
AN40-260SS(SUS)	25.4	25.0	27.0	400	260	373	180	80	2.27 2.29

※芯材:SWCH12Rの型式末尾はSS、芯材:SUS304の型式末尾はSUSになります。

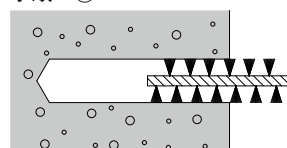
※特注で(芯材:SUS304・アンカー部:SUS304)も製作いたします。

●施工例

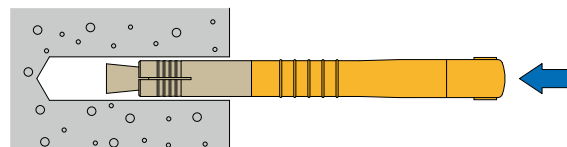
手順① ドリルで孔あけ(ドリル径φ26mm)



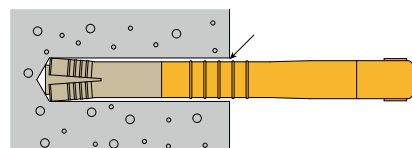
手順② ワイヤーブラシ等で孔内の切粉を除去する



手順③ アンカーを孔に差し込み、プラスチックハンマー又は木製ハンマーで確実に打ち込む



手順④ 先端のアンカーが開き固定
仕上げにエポキシ樹脂(アメニティパテ等)充填を推奨



充填接着用エポキシ樹脂パテ剤



後付けタイプ専用のエポキシ樹脂パテ剤です。
潤滑面に対する接着性が良好です。
圧着強度・曲げ強度がコンクリートと同等程度。
作業性に優れています。

⚠ タラップ施工以外に使用しないでください。

●荷 姿

1セット: 500g(主剤: 250g硬化剤: 250g)
使用できる目安
ドリルφ30mm、深さ100mmで3本分

●使用方法

1. 下地処理

下地表面(接着部位)の脆弱層、レタンス、錆、ゴミ、汚れ、油分、ドリルの粉等を除去してください。 ※正常な接着強度が得られなくなります。

2. 樹脂の場合

アメニティパテの主剤・硬化剤を定められた配合比(1:1)で計量し、ゴム手袋を使用して、少量の水を手袋につけ、粘土を練るように均一なグレー色になるまで十分に練り混ぜてください。練り混ぜる際に水をつけすぎると作業性が悪くなる場合がありますので、十分に注意してください。

3. 施工

可使時間内(30分: 20℃)に接着部位に圧着してください。

⚠ 5℃以下は使用できませんのでご注意ください。



1 必要量を取り出して
ください。



2 ねじるように練り
合わせてください。



3 白色(主剤)と
黒色(硬化剤)が
良く混ざるように練り
合わせてください。



4 二つ折にして重ねて
ください。



5 さらに色が
均一(グレー)に
なるまで練り合わせて
ください。



6 4 5を繰り返し、
色が均一(グレー)に
なれば、使用可能です。

●性 状

項 目	主 剤	硬 化 剤	試験方法
主 成 分	エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン	—
外 観	白色粘土状	黒色粘土状	—
配 合 比	主剤:硬化剤=1:1		—
比 重 (20℃)	1.67(硬化物)		JIS K 7112
可 使 時 間	20分以上(20℃、500g)		温度上昇法
指 触 硬 化 時 間	5時間 (20℃、500μ)		RC式乾燥時間測定

●取扱いの注意

本製品は、皮膚に触れたり蒸気を吸入すると傷害等をおこす恐れがありますので、下記の事項にご留意ください。

1. 換気にご注意ください。
2. 保護手袋等の保護具をご使用ください。
3. 皮膚等に付着した場合、直ちに石鹸等で洗い落としてください。
4. 目に入った場合、水でよく洗い流した後、必要に応じて医師の診断を受けてください。
5. 子供の目にふれない一定の場所に保管してください。
6. 使用後は手洗い、及びうがいを行ってください。

●物 性

項 目	強 さ	試験方法
引 張 強 度	20N/mm以上	JIS K 7161
曲 げ 強 度	35N/mm以上	JIS K 7171
圧 縮 強 度	50N/mm以上	JIS K 7181
引張剪断接着強度	7N/mm以上	JIS K 6850
硬 度	80 HDD 以上	JIS K 7215

※養生20℃ 7日間、試験温度20℃

樹脂被膜タラップについての注意事項

- ① 材質に変化を起こすようなことはしないでください。
- ② タラップを使ってコンクリート製品を吊り上げるようなことはしないでください。
- ③ 種類の選定には『本カタログ』を参照、もしくは担当者までお問い合わせください。